

『第196回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2024年 4～6月期の実績 2024年 7～9月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	105社
(業種別内訳)	製 造 業 28社	卸 売 業 8社	
	小 売 業 25社	サ ー ビ ス 業 11社	
	建 設 業 21社	不 動 産 業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 営業店支援グループ		

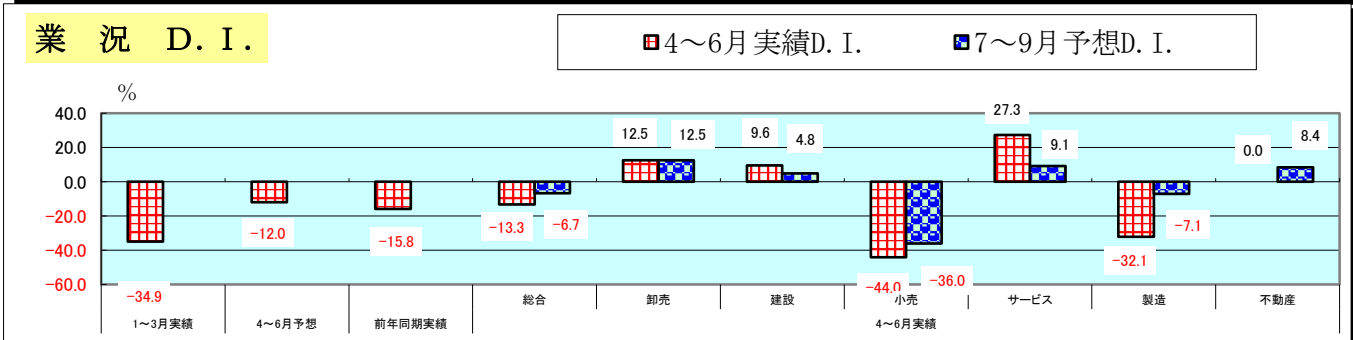
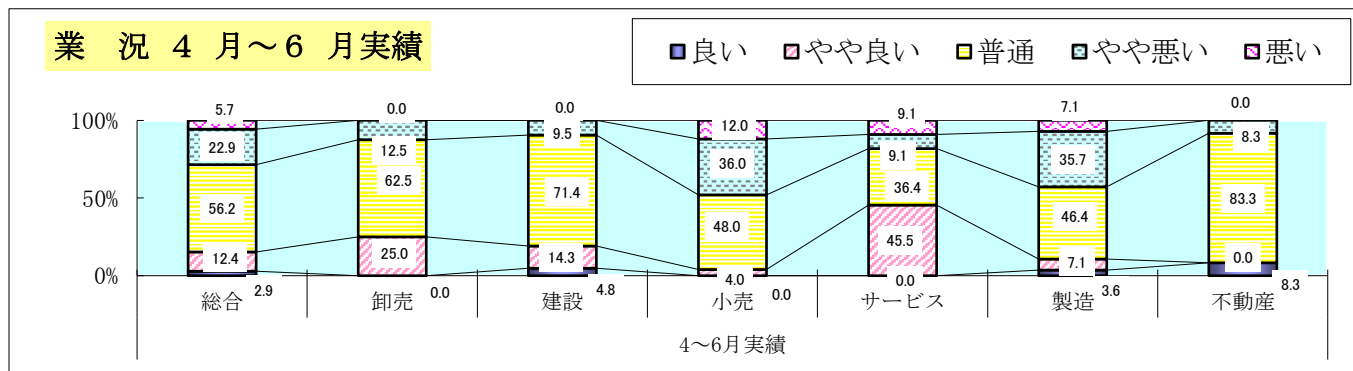
☆ 目 次 ☆

1	概況	P. 1
2(1)	前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2)	前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3)	前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4)	前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5)	前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6)	前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7)	前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1)	前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2)	前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3)	前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1)	前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2)	前期に比べた人手の動き	P. 13
5	前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1)	前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2)	前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
	経営上の問題点	P. 17
	当面の重点経営施策	P. 18
	特別調査 … 「中小企業における災害等への対応について」	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。

1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-34.9	
4～6月予想							-12.0	
前年同期実績							-15.8	
4～6月実績	総合	2.9	12.4	56.2	22.9	5.7	-13.3	-6.7
	卸売	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0	12.5	12.5
	建設	4.8	14.3	71.4	9.5	0.0	9.6	4.8
	小売	0.0	4.0	48.0	36.0	12.0	-44.0	-36.0
	サービス	0.0	45.5	36.4	9.1	9.1	27.3	9.1
	製造	3.6	7.1	46.4	35.7	7.1	-32.1	-7.1
不動産	8.3	0.0	83.3	8.3	0.0	0.0	8.4	



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’24年4～6月期の業況判断D. I. は△13.3で、’24年1～3月期D. I. △34.9と比べ21.6ポイント良化、前期調査における今期の予想D. I. △12.0に対しては1.3ポイント悪化、前年同期比では2.5ポイント良化しました。

次期予想D. I. については△6.7と今期より6.6ポイント良化の予想となりました。

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ)

’24年4～6月期(今期)の業況判断D. I. は△7.8、前期比1.5ポイント改善と、2四半期ぶりの小幅改善となった。

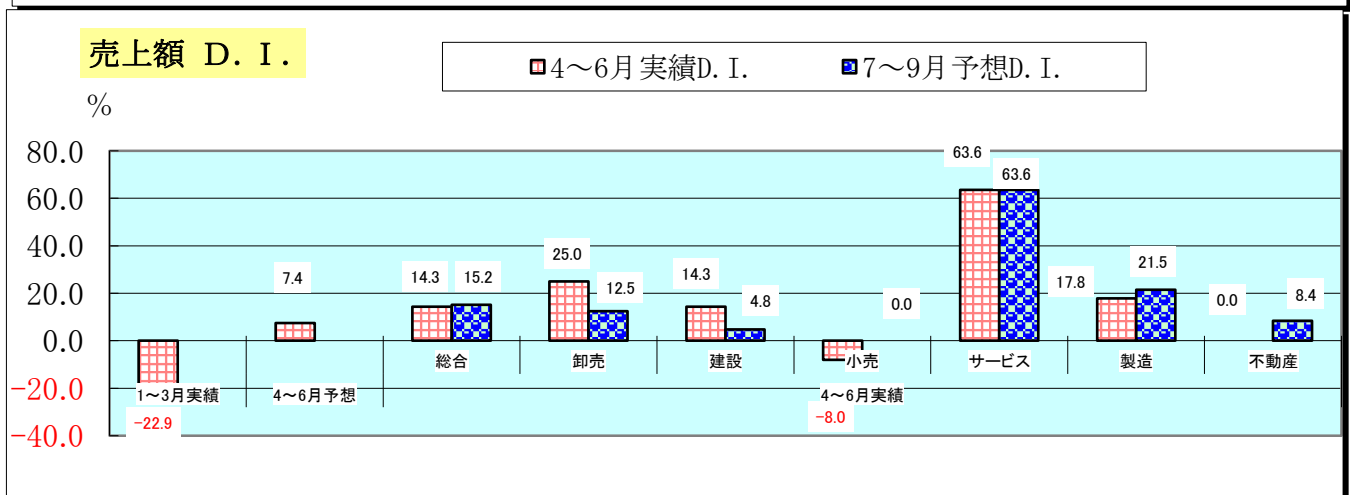
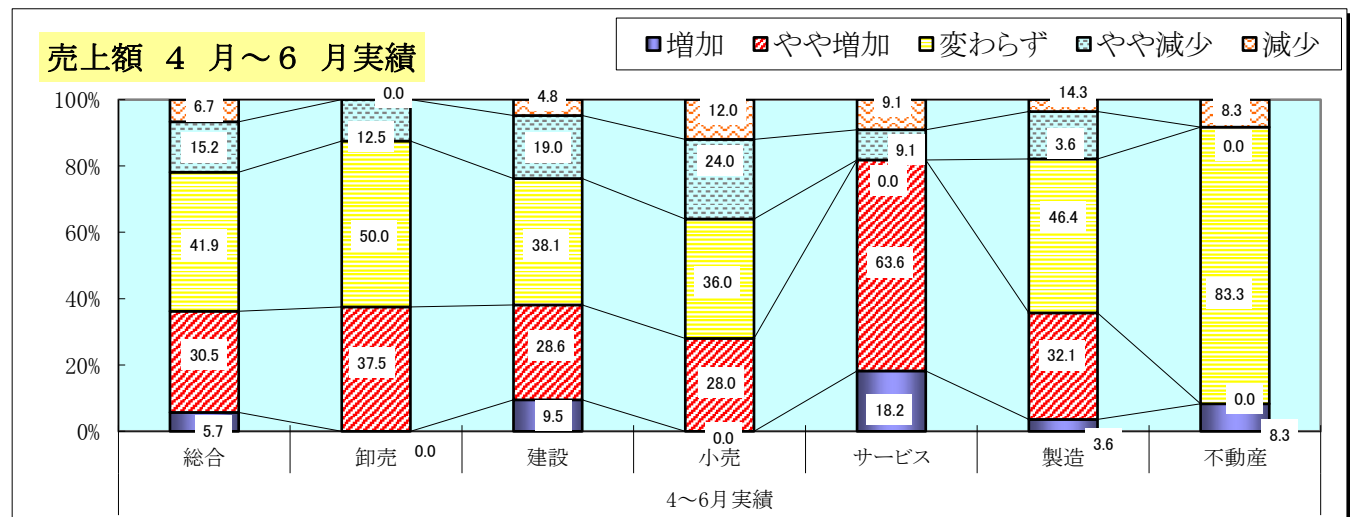
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス6.1と前期比1.0ポイント改善、同収益判断D. I. が△5.0と同0.1ポイント低下した。販売価格判断D. I. はプラス27.0と4四半期ぶりに上昇した。人手不足判断D. I. は△25.1と2四半期続けて人手不足感が緩和した。設備投資実施企業割合は21.6%と前期比1.6ポイント上昇した。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、建設業を除く5業種で、地域別には全11地域中7地域で、それぞれ改善となった。

’24年7～9月期(来期)の予想業況判断D. I. は△6.5、今期実績比1.3ポイントの改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、サービス業と不動産業を除く4業種で、また、地域別には全11地域中、近畿、中国、四国を除く8地域で、それぞれ改善する見通しとなっている。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

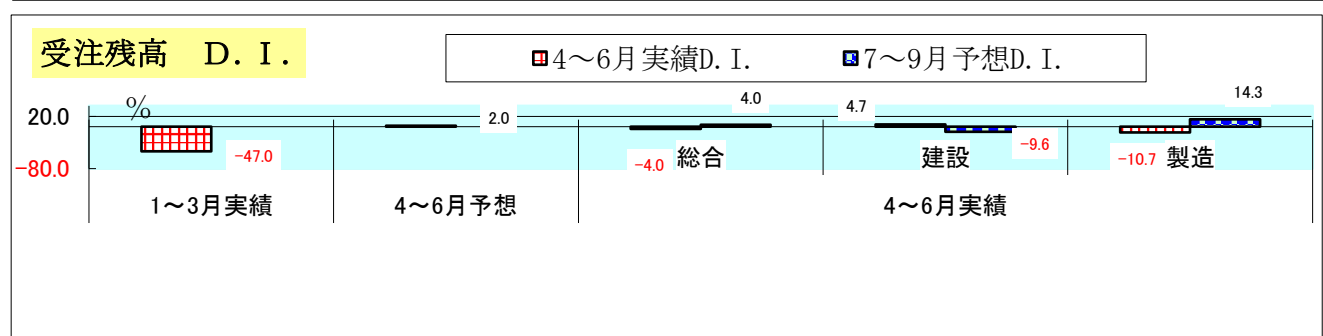
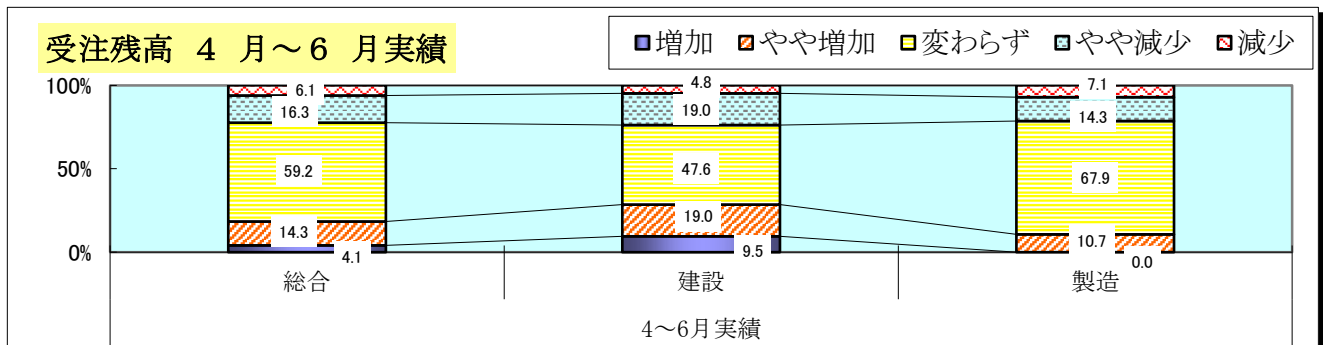
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-22.9	
4~6月予想							7.4	
4~6月実績	総合	5.7	30.5	41.9	15.2	6.7	14.3	15.2
	卸売	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0	25.0	12.5
	建設	9.5	28.6	38.1	19.0	4.8	14.3	4.8
	小売	0.0	28.0	36.0	24.0	12.0	-8.0	0.0
	サービス	18.2	63.6	0.0	9.1	9.1	63.6	63.6
	製造	3.6	32.1	46.4	14.3	3.6	17.8	21.5
	不動産	8.3	0.0	83.3	0.0	8.3	0.0	8.4



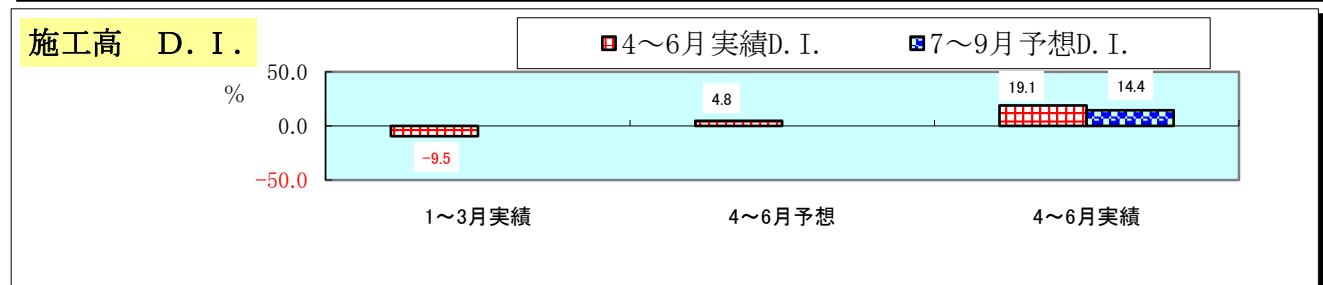
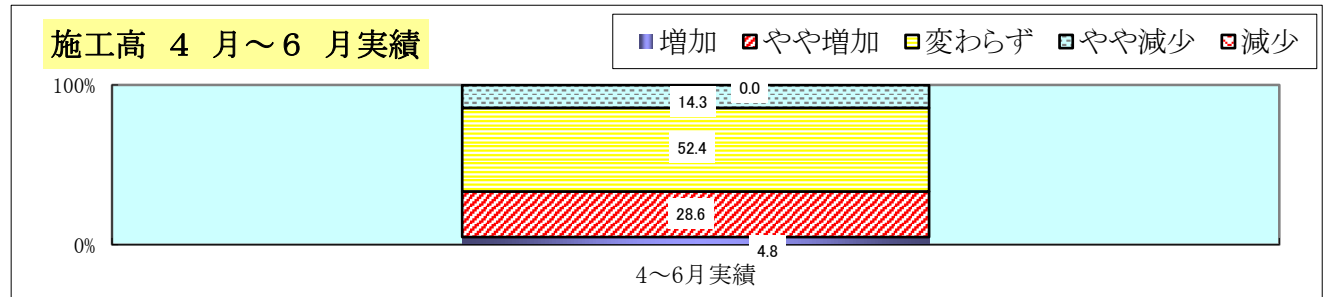
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業36.2%、「やや減少」「減少」とした企業は21.9%で今期D. I. は14.3となりました。
- 今期の売上額の動きD. I. は、前期実績D. I. Δ 22.9から37.2ポイント増加、前期調査における今期の予想D. I. 7.4に対しても6.9ポイントの増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で63.6ポイントと大幅な増加を示し、卸売業でも25.0ポイントの増加となりました。一方、小売業では Δ 8.0ポイントの減少を示しました。
- 7~9月予想D. I. は15.2で、4~6月実績より0.9ポイントの売上高増加予想となりました。

(2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-47.0	
4～6月予想							2.0	
4～6月実績	総合	4.1	14.3	59.2	16.3	6.1	-4.0	4.0
	建設	9.5	19.0	47.6	19.0	4.8	4.7	-9.6
	製造	0.0	10.7	67.9	14.3	7.1	-10.7	14.3



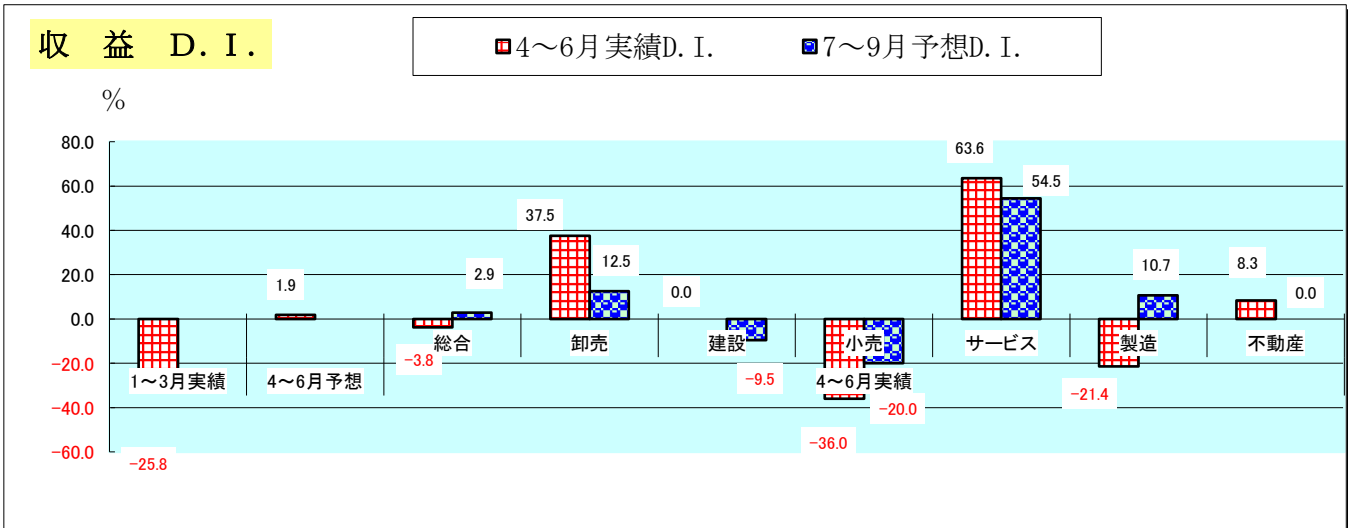
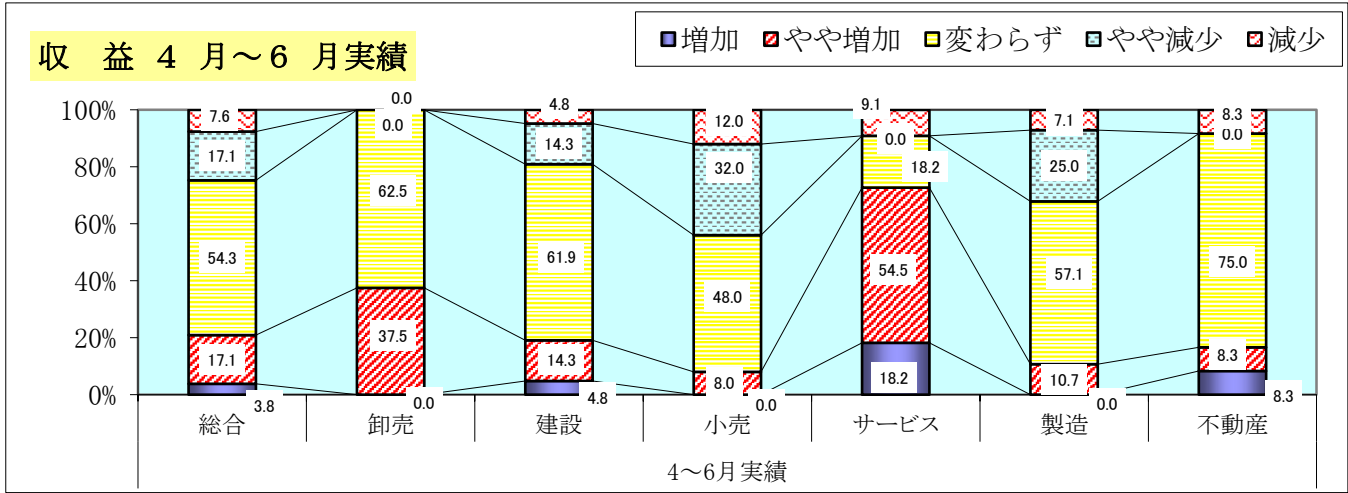
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-9.5	
4～6月予想							4.8	
4～6月実績		4.8	28.6	52.4	14.3	0.0	19.1	14.4



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△4.0で、前期実績D. I. △47.0に対し43.0ポイントの増加となり、前期調査における今期予想D. I. 2.0に対しても6.0ポイントの減少となりました。また、7～9月の受注残高予想D. I. は4.0で、4～6月実績対比8.0ポイントの増加予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は19.1となり、前期実績D. I. △9.5に対し28.6ポイント増加し、前期調査における今期予想D. I. 4.8に対しては14.3ポイント増加しました。また、施工高7～9月予想D. I. は14.4で、4～6月実績対比4.7ポイントの減少予想となりました。

(3) 収益の動き

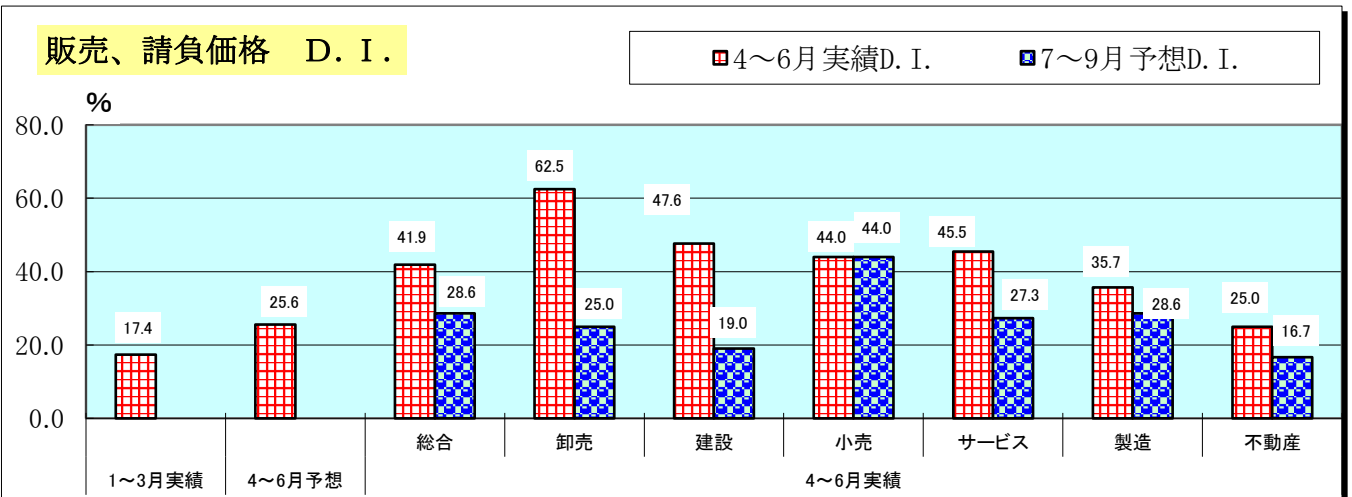
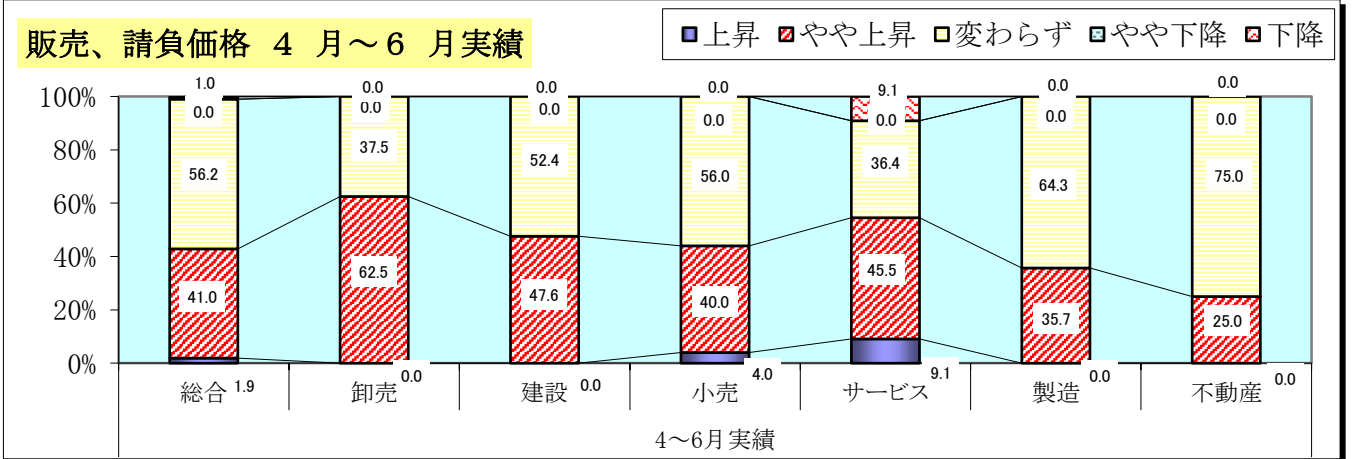
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-25.8	
4~6月予想							1.9	
4~6月実績	総合	3.8	17.1	54.3	17.1	7.6	-3.8	2.9
	卸売	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	37.5	12.5
	建設	4.8	14.3	61.9	14.3	4.8	0.0	-9.5
	小売	0.0	8.0	48.0	32.0	12.0	-36.0	-20.0
	サービス	18.2	54.5	18.2	0.0	9.1	63.6	54.5
	製造	0.0	10.7	57.1	25.0	7.1	-21.4	10.7
不動産	8.3	8.3	75.0	0.0	8.3	8.3	0.0	



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は20.9%、「やや減少」「減少」とした企業は24.7%で、今期D. I. は△3.8となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △25.8から22.0ポイント増加し、前期調査における、今期予想D. I. 1.9に対しては5.7ポイント減少しました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で63.6ポイントの大幅増加、卸売業で37.5ポイントの増加を示し、小売り業では△36.0ポイント、製造業では△21.4ポイントと減少を示しています。
- 7~9月予想D. I. は2.9で、4~6月実績より6.7ポイントの増加予想となりました。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

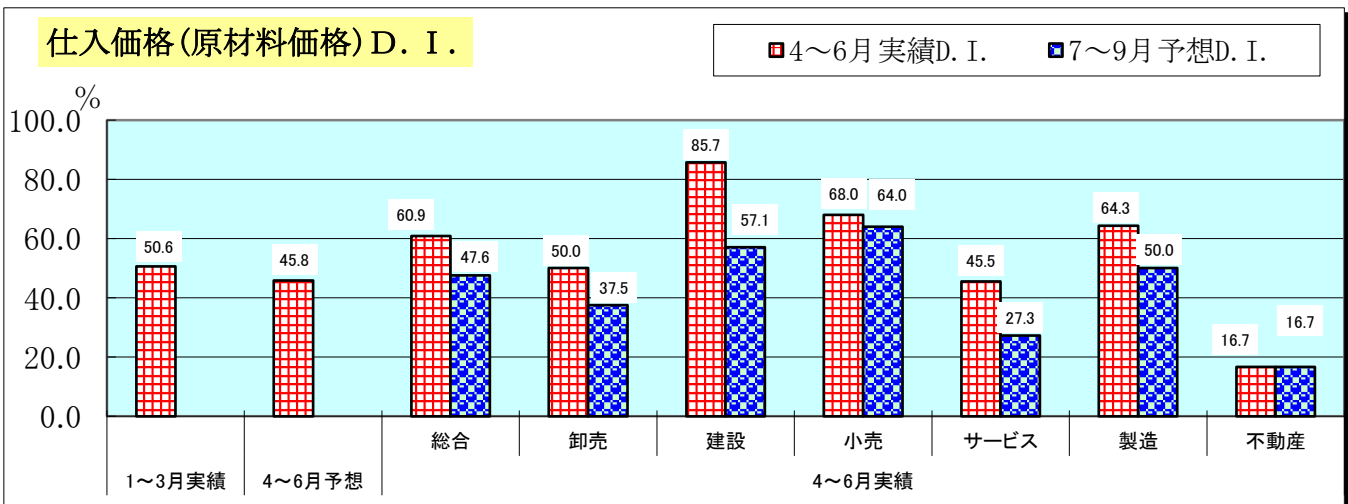
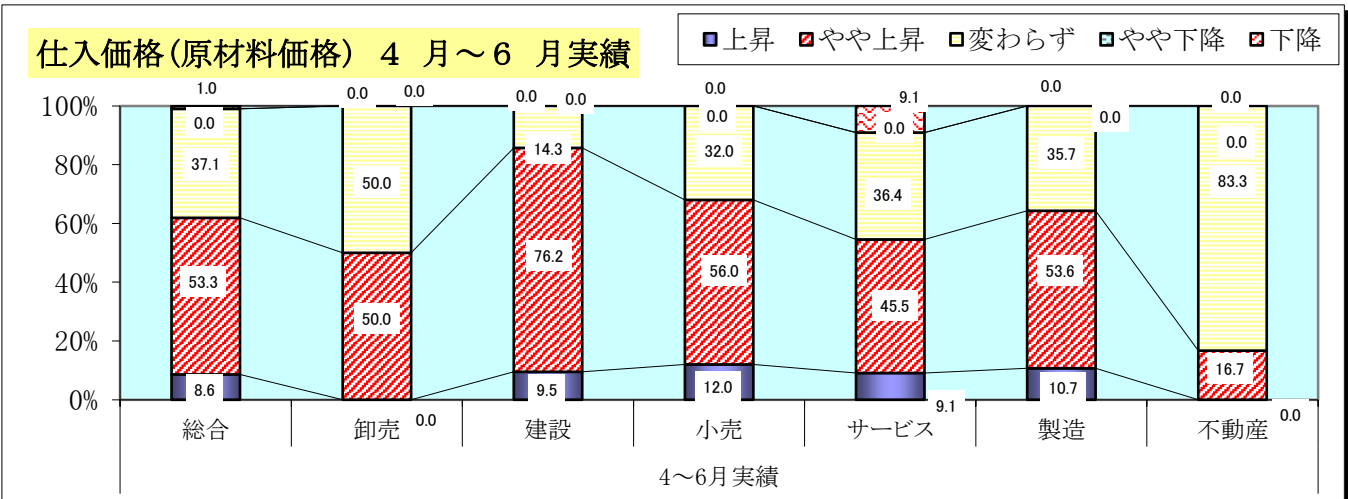
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D.I.	7～9月予想D.I.
1～3月実績							17.4	
4～6月予想							25.6	
4～6月実績	総合	1.9	41.0	56.2	0.0	1.0	41.9	28.6
	卸売	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	62.5	25.0
	建設	0.0	47.6	52.4	0.0	0.0	47.6	19.0
	小売	4.0	40.0	56.0	0.0	0.0	44.0	44.0
	サービス	9.1	45.5	36.4	0.0	9.1	45.5	27.3
	製造	0.0	35.7	64.3	0.0	0.0	35.7	28.6
不動産	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	16.7	



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は42.9%、「やや下降」「下降」とした企業は1.0%で、今期D.I.は41.9となりました。
- 今期の販売価格D.I.は、前期実績D.I.17.4から24.5ポイント上昇し、前期調査における今期予想D.I.25.6に対しては16.3ポイント上昇となりました。
- 業種別の今期D.I.は、すべての業種で上昇を示し、卸売業で62.5ポイントの大幅上昇を示しました。
- 7～9月予想D.I.は28.6で、4～6月実績より13.3ポイントの下降予想となりました。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

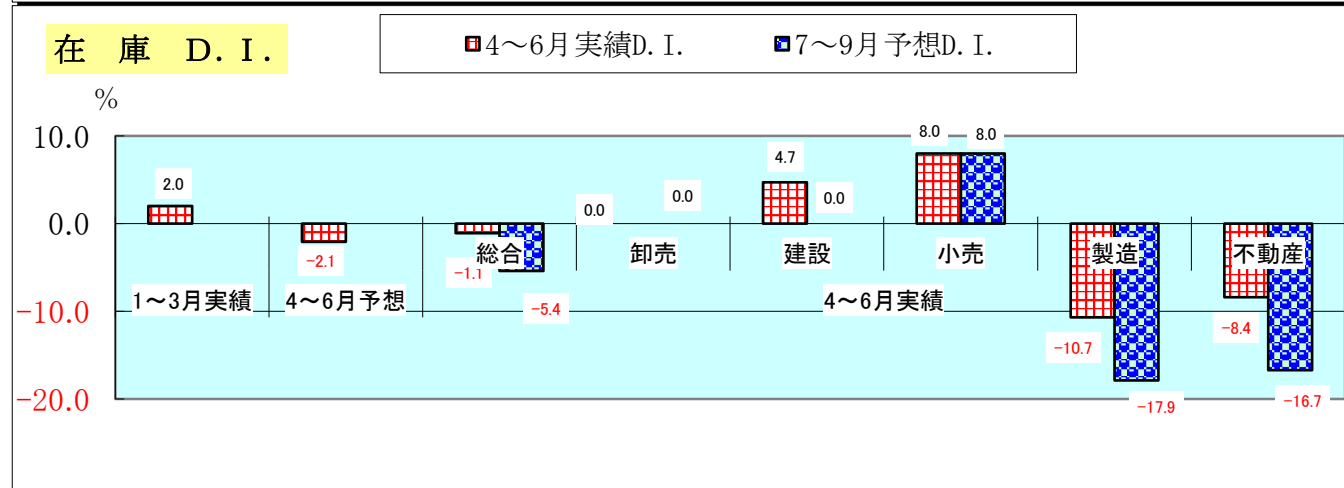
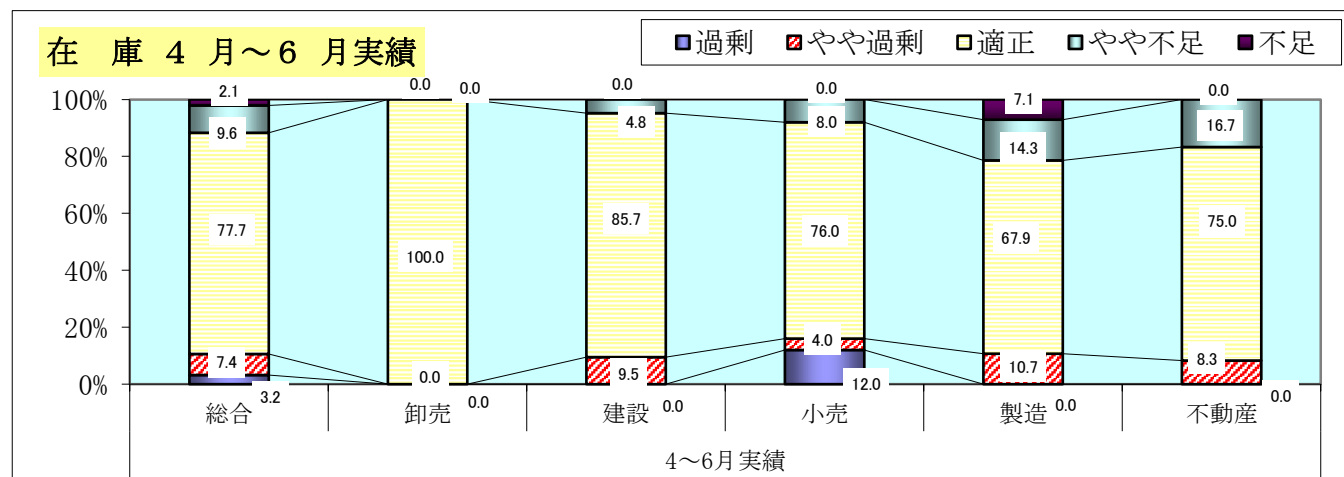
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							50.6	
4～6月予想							45.8	
4～6月実績	総合	8.6	53.3	37.1	0.0	1.0	60.9	47.6
	卸売	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	37.5
	建設	9.5	76.2	14.3	0.0	0.0	85.7	57.1
	小売	12.0	56.0	32.0	0.0	0.0	68.0	64.0
	サービス	9.1	45.5	36.4	0.0	9.1	45.5	27.3
	製造	10.7	53.6	35.7	0.0	0.0	64.3	50.0
不動産	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	16.7	16.7	



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は61.9%、「やや下降」「下降」とした企業は1.0%で、今期D. I. は60.9となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 50.6から10.3ポイント上昇、前期調査における今期予想D. I. 45.8に対しては15.1ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. では、不動産業を除く全ての業種で大幅な仕入価格の上昇を示しました。
- 7～9月予想D. I. は47.6で、4～6月実績より13.3ポイントの下降予想となりました。

(6) 在庫の動き

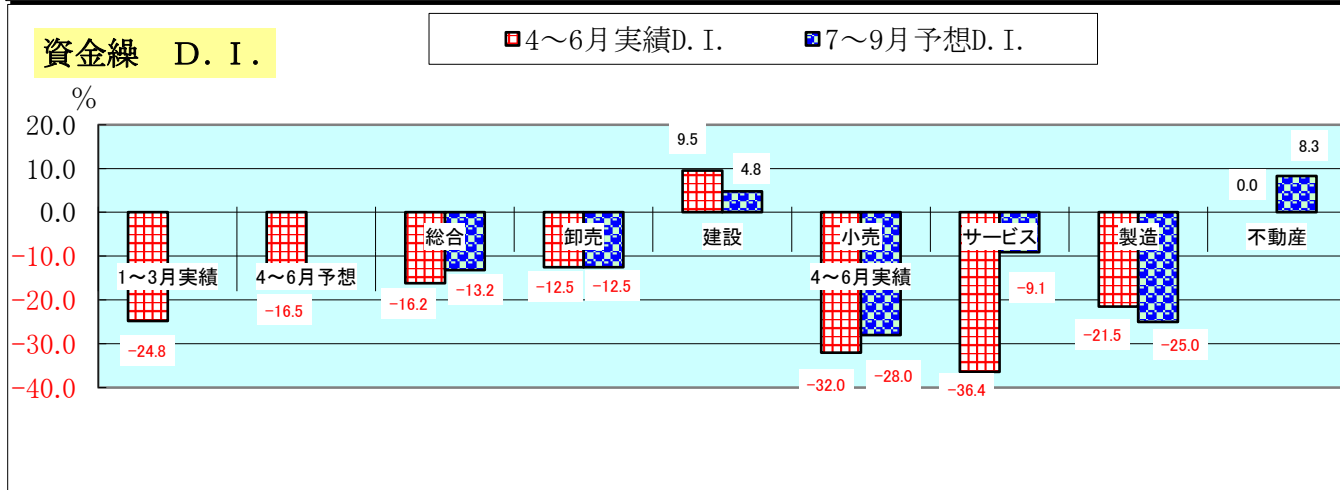
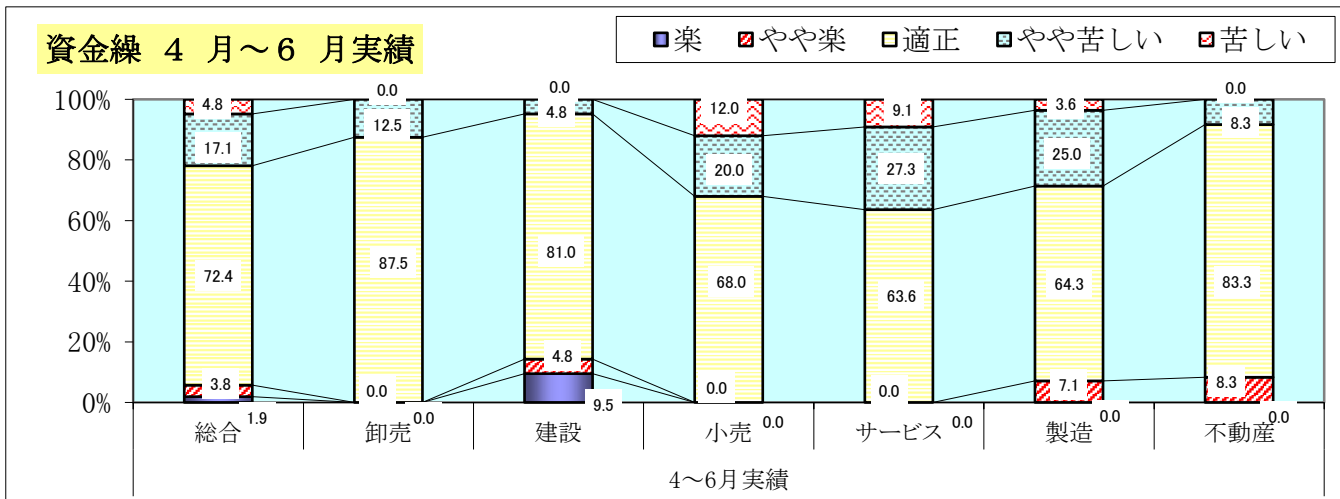
在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							2.0	
4~6月予想							-2.1	
4~6月実績	総合	3.2	7.4	77.7	9.6	2.1	-1.1	-5.4
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	0.0
	小売	12.0	4.0	76.0	8.0	0.0	8.0	8.0
	製造	0.0	10.7	67.9	14.3	7.1	-10.7	-17.9
不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	-16.7	



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が10.6%、「やや不足」「不足」とした企業が11.7%で、今期D. I. は△1.1となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I. 2.0より3.1ポイントの在庫不足となり、前期調査における今期予想D. I. △2.1に対しては、1.0ポイントの良化を示しました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で8.0、建設業で4.7ポイントの在庫過剰を示し卸売業では均衡となりました。一方、製造業で10.7ポイント、不動産業で8.4ポイントの不足を示しました。
- 7~9月予想D. I. は△5.4で、4~6月実績より△4.3ポイントの在庫不足予想となりました。

(7) 資金繰りの動き

資金繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-24.8	
4~6月予想							-16.5	
4~6月実績	総合	1.9	3.8	72.4	17.1	4.8	-16.2	-13.2
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-12.5
	建設	9.5	4.8	81.0	4.8	0.0	9.5	4.8
	小売	0.0	0.0	68.0	20.0	12.0	-32.0	-28.0
	サービス	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1	-36.4	-9.1
	製造	0.0	7.1	64.3	25.0	3.6	-21.5	-25.0
	不動産	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	8.3

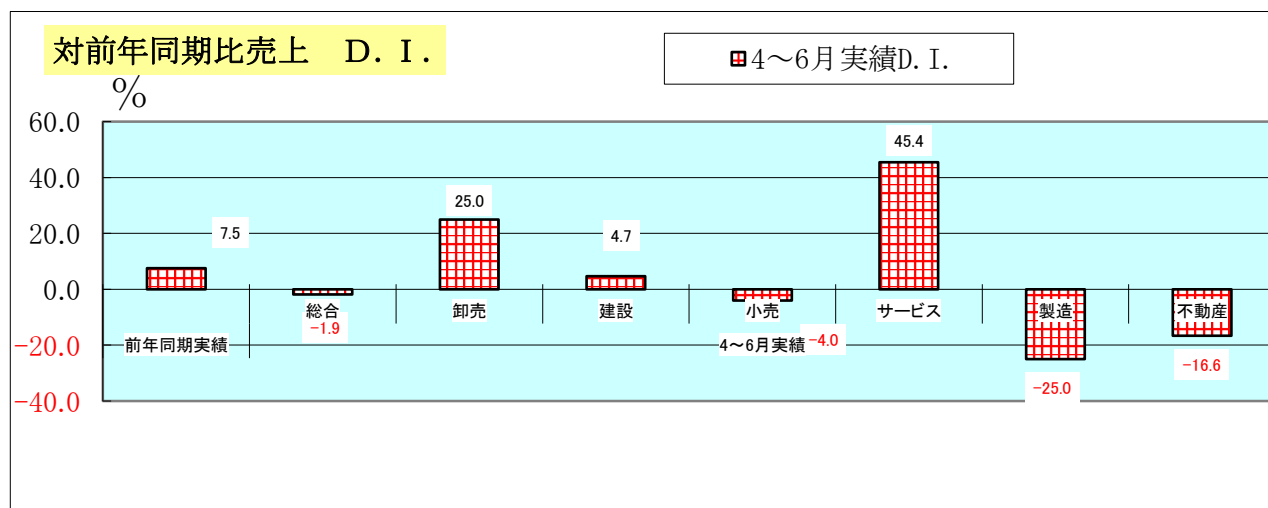
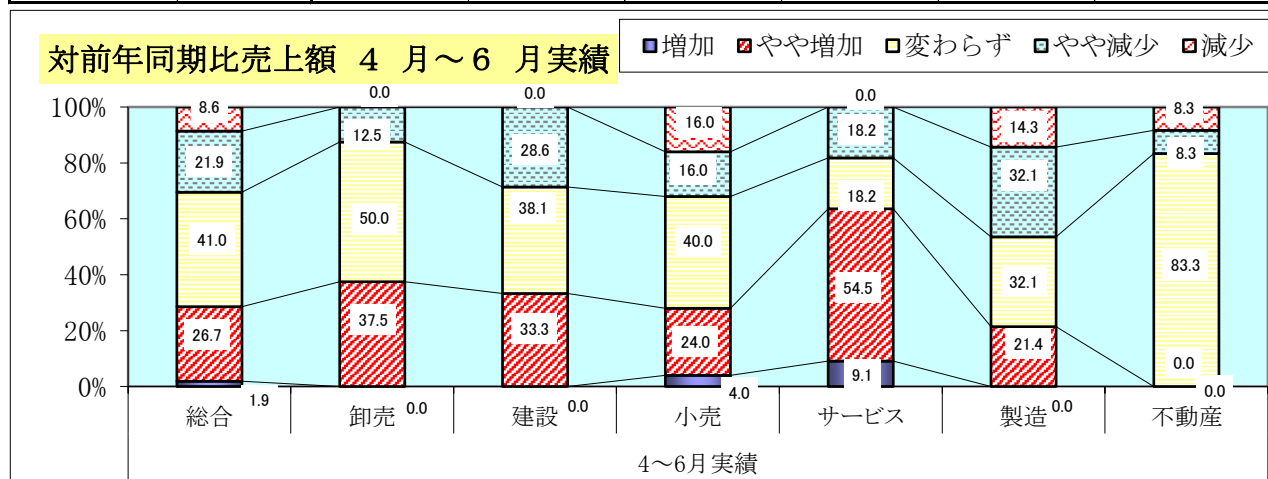


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は5.7%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は21.9%となり、今期D. I. は△16.2となりました。
- 今期の資金繰りD. I. は、前期実績D. I. △24.8から8.6ポイント良化。前期調査における今期予想D. I. △16.5に対しては0.3ポイント良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、建設業と不動産業を除く全ての業種で資金繰りの苦しい状況を示しており、サービス業△36.4、小売業△32.0と苦しい状況が窺われます。
- 7~9月予想D. I. は△13.2で、4~6月実績より3.0ポイントの改善予想となりました。

3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

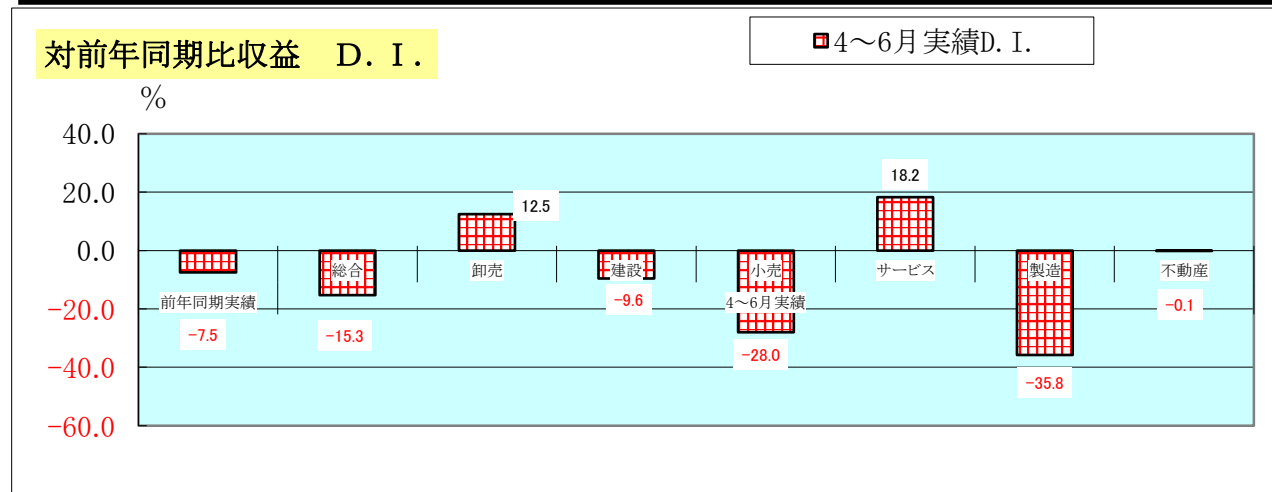
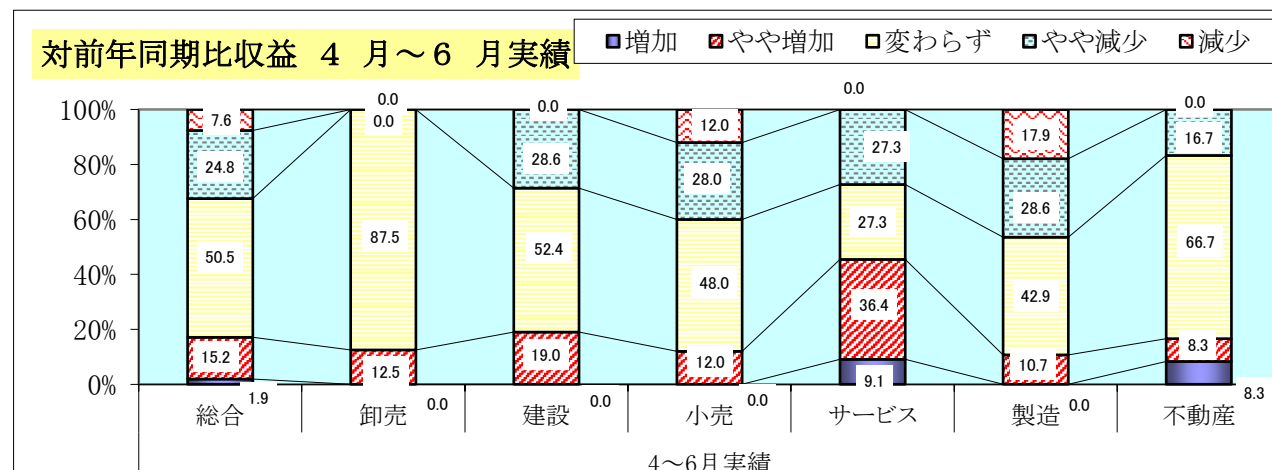
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D. I.
前年同期実績							7.5
4～6月実績	総合	1.9	26.7	41.0	21.9	8.6	-1.9
	卸売	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0	25.0
	建設	0.0	33.3	38.1	28.6	0.0	4.7
	小売	4.0	24.0	40.0	16.0	16.0	-4.0
	サービス	9.1	54.5	18.2	18.2	0.0	45.4
	製造	0.0	21.4	32.1	32.1	14.3	-25.0
	不動産	0.0	0.0	83.3	8.3	8.3	-16.6



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は28.6%、「やや減少」「減少」とした企業は30.5%で、今期D. I. は△1.9となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 7.5より9.4ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業45.4、卸売業25.0ポイントの増加となりました。一方、製造業25.0、不動産業16.6、小売業4.0ポイントの減少となりました。

(2) 収益

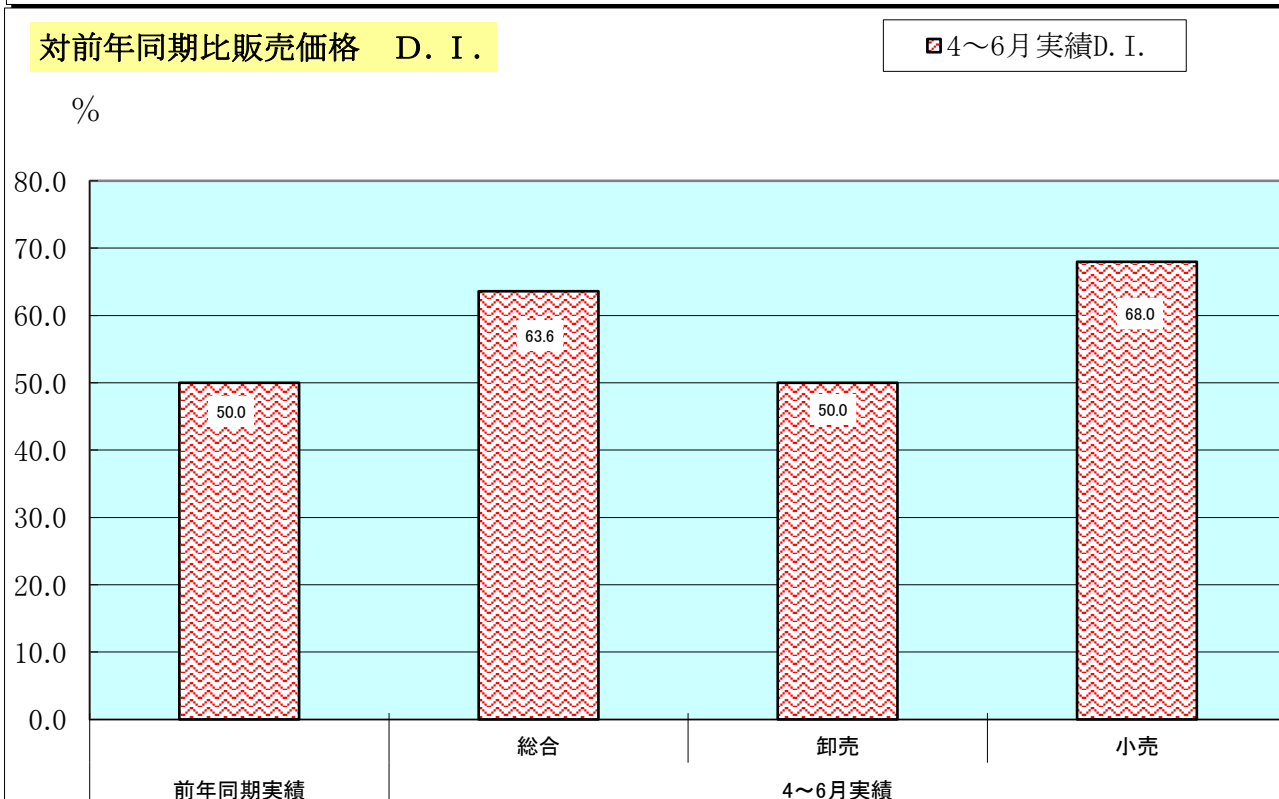
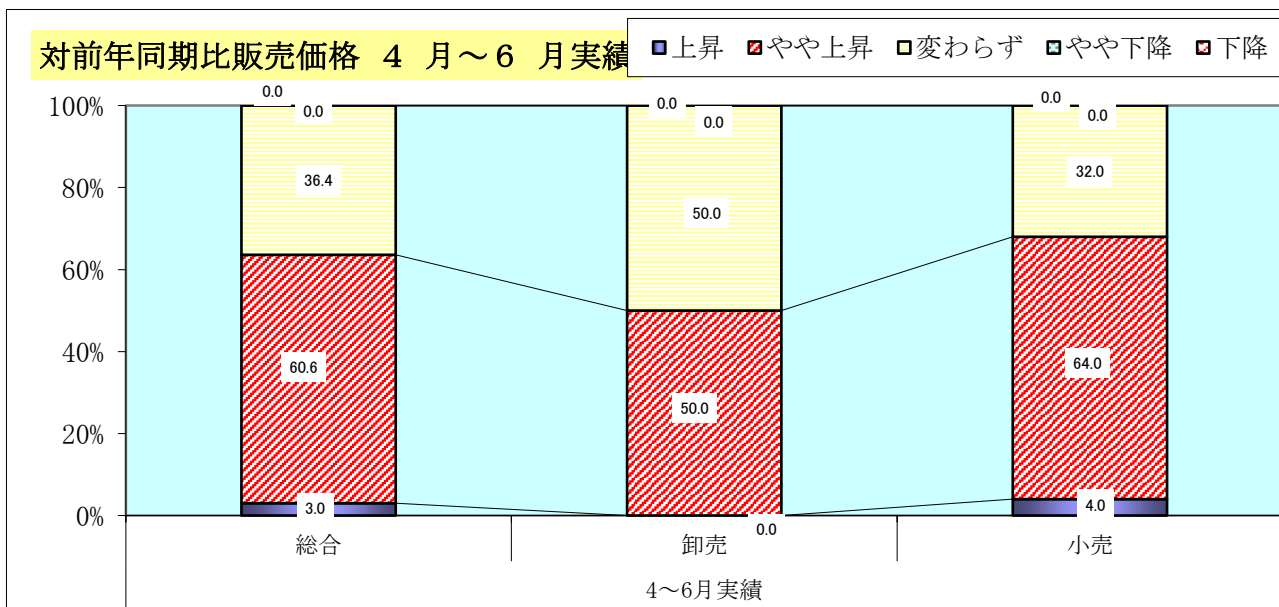
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D. I.
前年同期実績							-7.5
4～6月実績	総合	1.9	15.2	50.5	24.8	7.6	-15.3
	卸売	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	12.5
	建設	0.0	19.0	52.4	28.6	0.0	-9.6
	小売	0.0	12.0	48.0	28.0	12.0	-28.0
	サービス	9.1	36.4	27.3	27.3	0.0	18.2
	製造	0.0	10.7	42.9	28.6	17.9	-35.8
	不動産	8.3	8.3	66.7	16.7	0.0	-0.1



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は17.1%、「やや減少」「減少」とした企業は32.4%で、今期D. I. は△15.3となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. △7.5に対し、7.8ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業18.2、卸売業12.5の増加となりました。一方、製造業35.8、小売業28.0、建設業9.6ポイントの減少となりました。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4~6月実績D. I.
前年同期実績							50.0
4~6月実績	総合	3.0	60.6	36.4	0.0	0.0	63.6
	卸売	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	小売	4.0	64.0	32.0	0.0	0.0	68.0

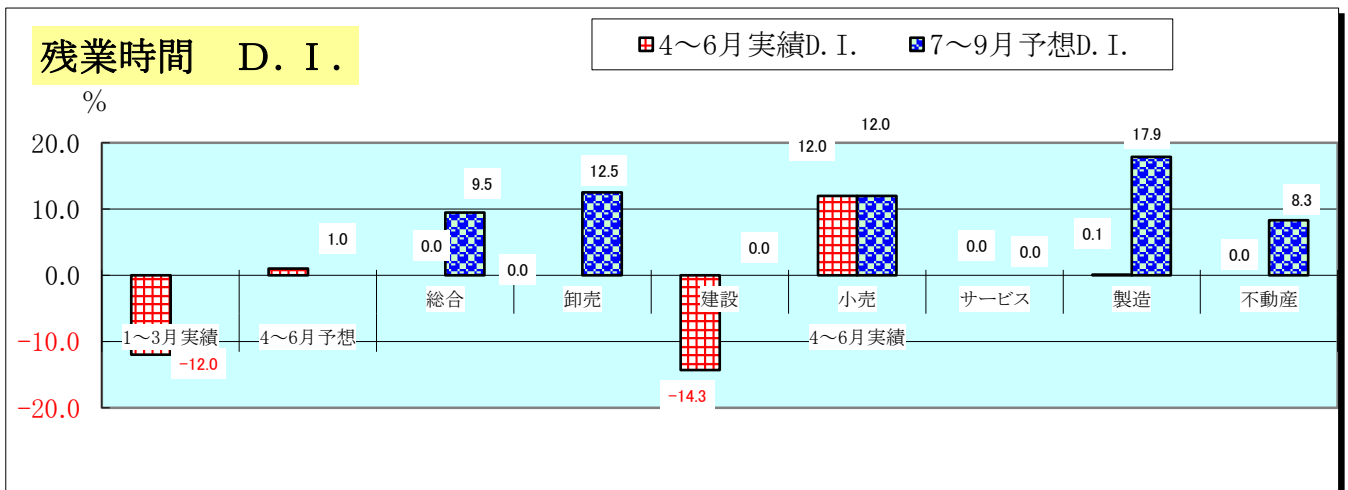
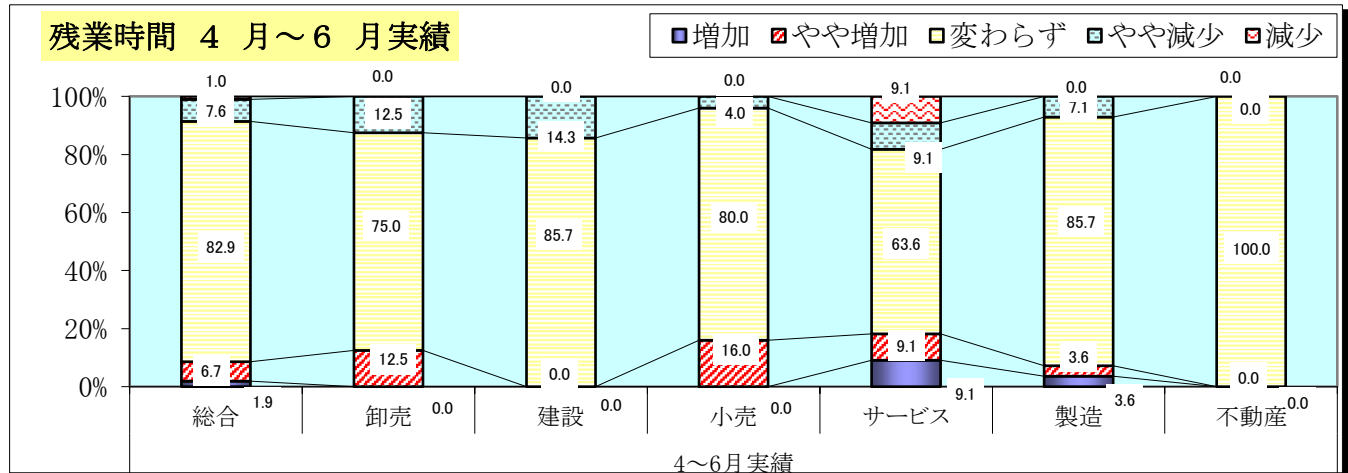


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は63.6%、「やや下降」「下降」とした企業は0.0%となり、今期D. I. は63.6となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 50.0に対し13.6ポイント上昇しました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業68.0、卸売業50.0ポイントの上昇を示しました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

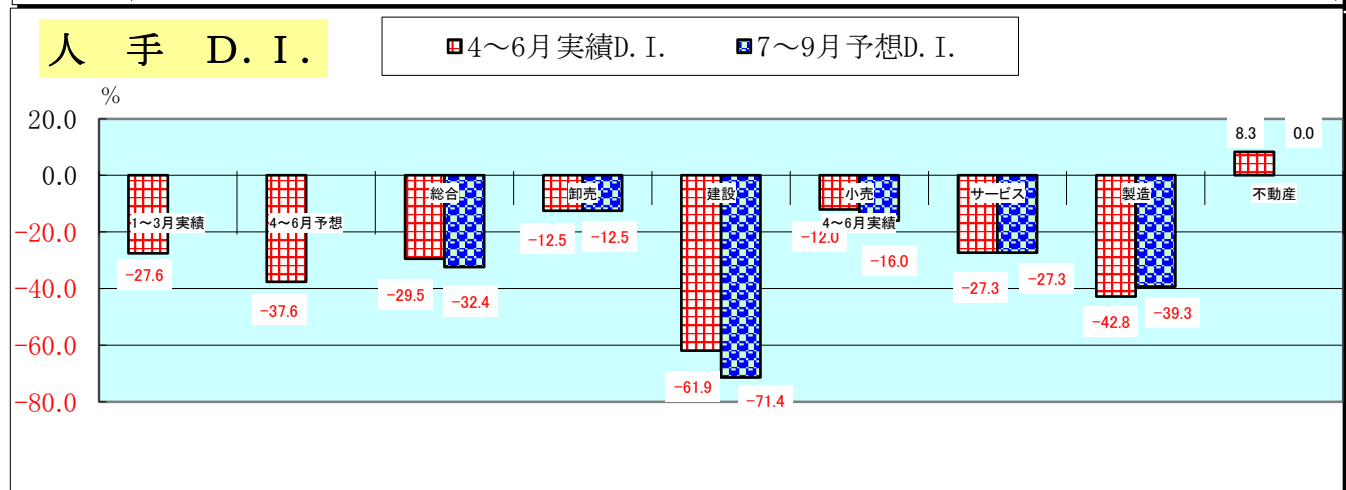
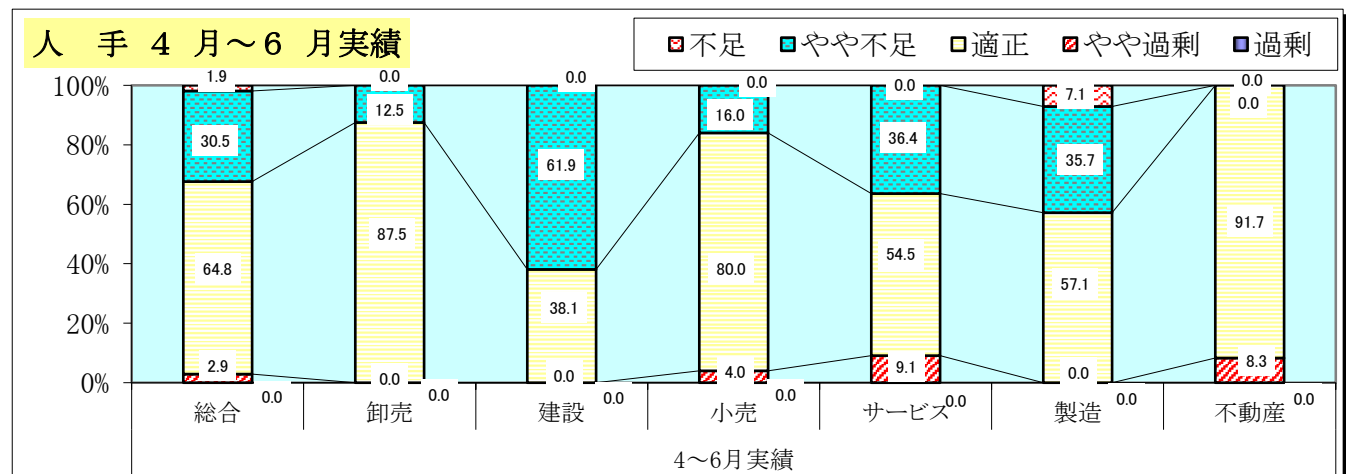
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-12.0	
4~6月予想							1.0	
4~6月実績	総合	1.9	6.7	82.9	7.6	1.0	0.0	9.5
	卸売	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	建設	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	0.0
	小売	0.0	16.0	80.0	4.0	0.0	12.0	12.0
	サービス	9.1	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0
	製造	3.6	3.6	85.7	7.1	0.0	0.1	17.9
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	8.3	



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は8.6%、「やや減少」「減少」とした企業は8.6%で、今期D. I. は0.0となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △12.0に対し12.0ポイント残業時間の増加となりました。前期調査における今期予想D. I. 1.0に対しても1.0ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で12.0ポイント増加を示し、建設業は14.3ポイント減少を示しました。
- 7~9月予想D. I. は9.5で、4~6月実績より9.5ポイント残業時間の増加予想となりました。

(2) 人手

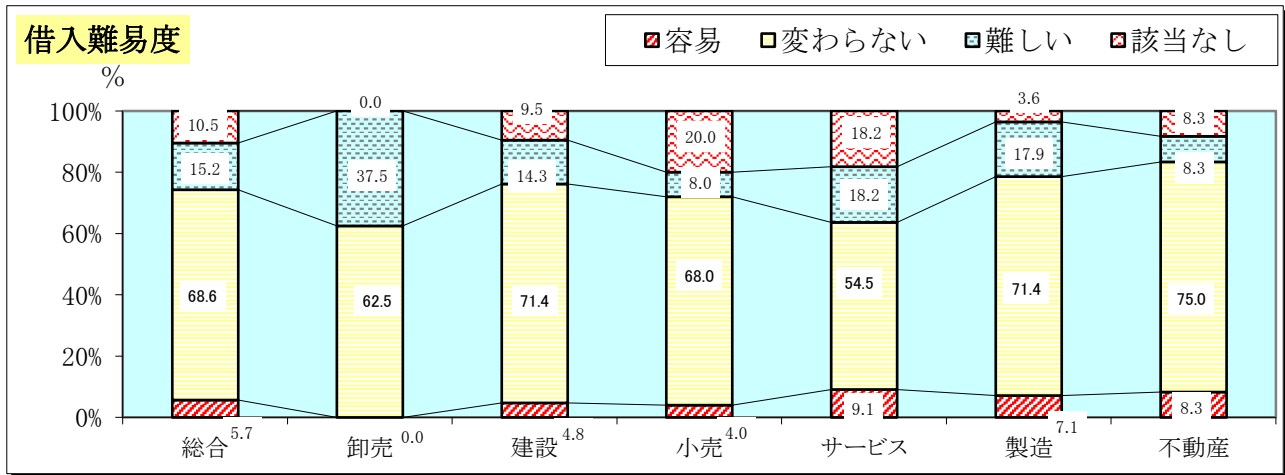
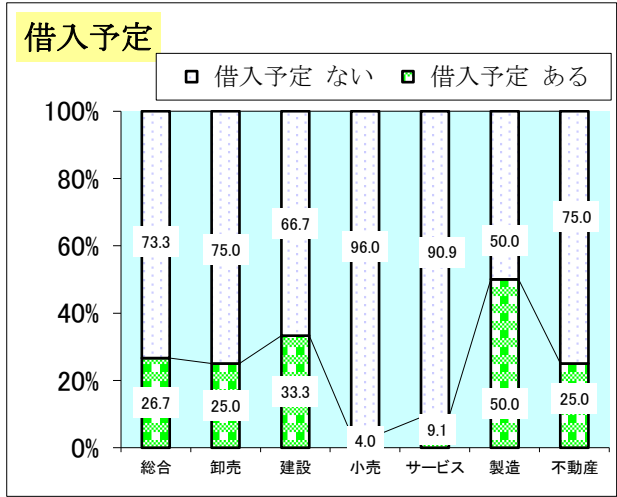
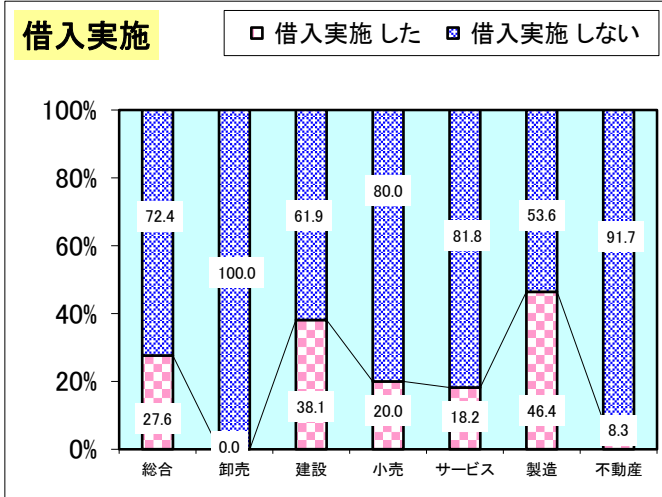
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-27.6	
4～6月予想							-37.6	
4～6月実績	総合	0.0	2.9	64.8	30.5	1.9	-29.5	-32.4
	卸売	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	-12.5	-12.5
	建設	0.0	0.0	38.1	61.9	0.0	-61.9	-71.4
	小売	0.0	4.0	80.0	16.0	0.0	-12.0	-16.0
	サービス	0.0	9.1	54.5	36.4	0.0	-27.3	-27.3
	製造	0.0	0.0	57.1	35.7	7.1	-42.8	-39.3
	不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は2.9%、「やや不足」「不足」とした企業は32.4%で、今期D.I.は△29.5となりました。
- 今期D.I.は前期実績D.I.△27.6から1.9ポイント人手不足を示したが、前期調査における今期予想D.I.△37.6に対しては、8.1ポイント人手不足が緩和しました。
- 業種別の今期D.I.は、不動産業を除く全業種で人手不足を示しており、殊に、建設業△61.9、製造業△42.8と人手不足が顕著となっています。
- 7～9月予想D.I.は△32.4で、4～6月実績より2.9ポイント人手不足感が強まる予想となりました。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	27.6	72.4	26.7	73.3	5.7	68.6	15.2	10.5
卸売	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	62.5	37.5	0.0
建設	38.1	61.9	33.3	66.7	4.8	71.4	14.3	9.5
小売	20.0	80.0	4.0	96.0	4.0	68.0	8.0	20.0
サービス	18.2	81.8	9.1	90.9	9.1	54.5	18.2	18.2
製造	46.4	53.6	50.0	50.0	7.1	71.4	17.9	3.6
不動産	8.3	91.7	25.0	75.0	8.3	75.0	8.3	8.3

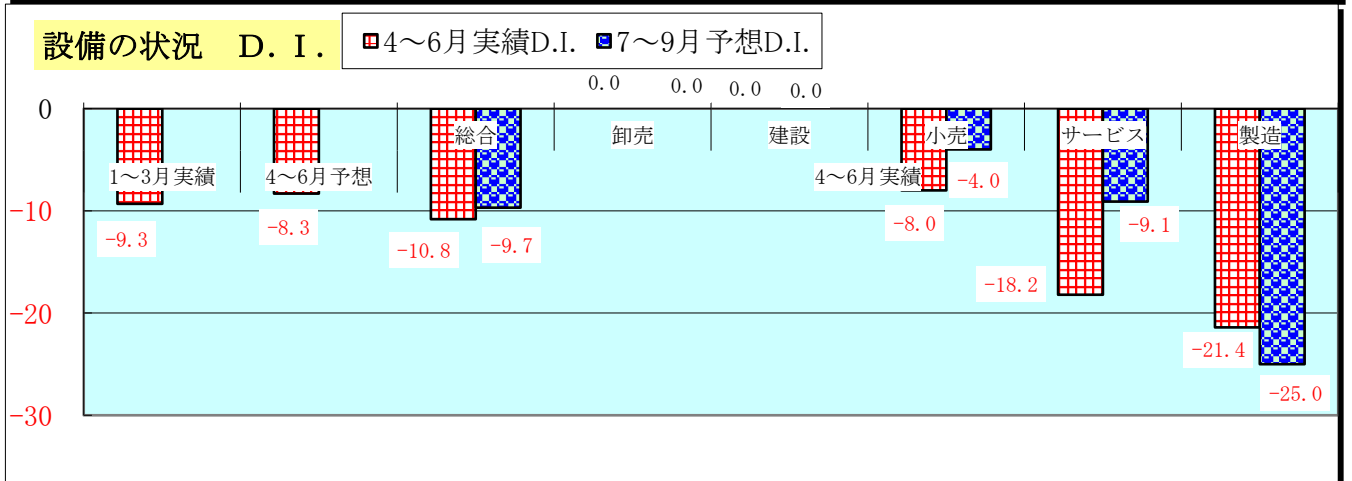
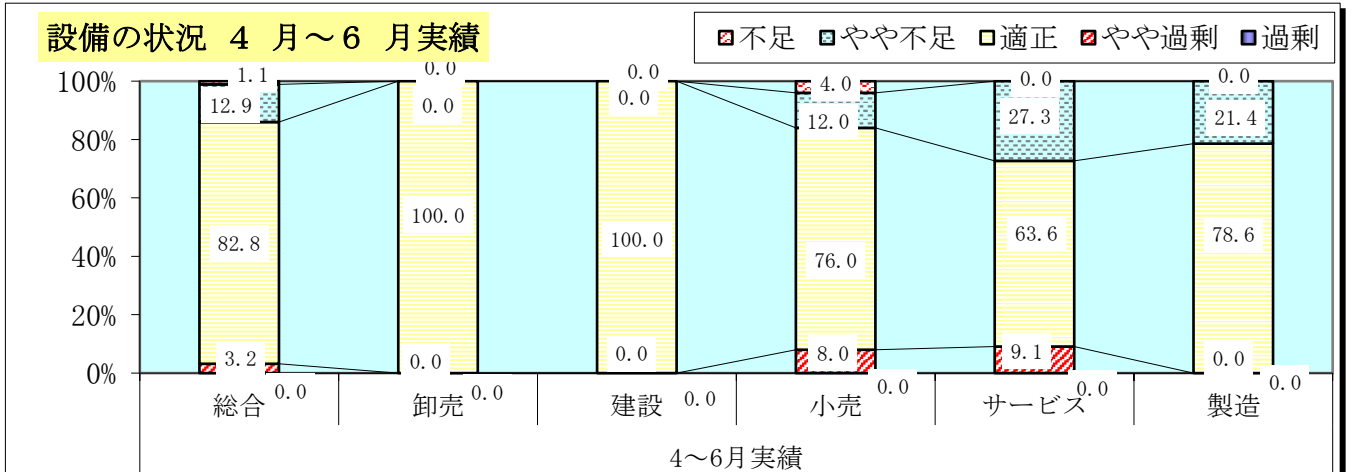


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で27.6%（前期30.3%）となりました。業種別では、製造業46.4%、建設業38.1%等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で26.7%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業50.0%、建設業33.3%、卸売業・不動産業25.0%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で68.6%（前期71.6%）、「容易」5.7%（前期3.7%）、「難しい」15.2%（前期12.8%）となりました。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D.I.	7～9月予想D.I.
1～3月実績							-9.3	
4～6月予想							-8.3	
4～6月実績	総合	0.0	3.2	82.8	12.9	1.1	-10.8	-9.7
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小売	0.0	8.0	76.0	12.0	4.0	-8.0	-4.0
	サービス	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	-9.1
製造	0.0	0.0	78.6	21.4	0.0	-21.4	-25.0	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は3.2%、「やや不足」「不足」とした企業は14.0%で、今期D.I.は△10.8となりました。
- 今期D.I.は、前期実績D.I. △9.3に対して1.5ポイント不足感が示されました。前期調査における今期予想D.I. △8.3に対しても2.5ポイント不足感が示されました。
- 業種別の今期D.I.は、卸売業、建設業を除いた他の業種で不足を示し、サービス業、製造業では強い不足感を示しています。
- 7～9月予想D.I.は△9.7で、4～6月実績より1.1ポイント緩和の予想となりました。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	2	8	10	6	8	1	67
卸売	0	0	1	0	0	0	7
建設	0	3	4	1	3	1	14
小売	1	-	-	3	2	0	19
サービス	0	2	3	1	1	0	6
製造	1	3	2	1	2	0	21

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合	2	2	6	2	5	0	80
卸売	0	0	0	0	0	0	8
建設	1	2	4	0	3	0	15
小売	1	-	-	2	1	0	21
サービス	0	0	0	0	0	0	11
製造	0	0	2	0	1	0	25

○ 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ35件で前期調査時を12件上回りました。

業種別では、建設業が12件、製造業が9件、サービス業が7件、小売業が6件、卸売業が1件となりました。

設備投資の実施内容は、「機械更改」が10件、「機械新增設」「車両」が8件、「事務機器」が6件、「土地建物」が2件、「その他」が1件となりました。

○ 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ17件となりました。

業種別では、建設業10件、小売業4件、製造業3件となりました。

設備投資の予定内容は、「機械更改」6件、「車両」5件、「土地建物」「機械新增設」「事務機器」各2件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	3	4	5	6	10	11	4	3	15	9	8	5	45	38	16.5	13.8
同業者間の競争激化	0	0	1	0	4	3	3	2	2	1	4	5	14	11	5.1	4.0
利幅の縮小	3	3	5	3	7	4	2	5	11	11	3	2	31	28	11.4	10.2
人件費の増加	1	2	8	5	4	4	4	4	4	4	1	1	22	20	8.1	7.3
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	2	0	3	1	7	6	0	0	12	7	4.4	2.5
人件費以外の経費の増加	0	1	0	0	3	1	1	2	2	3	0	1	6	8	2.2	2.9
大手企業（大型店）との競争激化	3	3	0	1	2	1	1	1	0	1	0	0	6	7	2.2	2.5
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0.0	1.1
天候の不順	0	0	3	1	5	5	1	0	1	0	0	0	10	6	3.7	2.2
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
原材料高・材料価格の上昇	0	0	15	18	0	0	2	3	21	23	0	0	38	44	14.0	16.0
地場産業の衰退	1	0	0	1	2	3	1	1	2	0	0	0	6	5	2.2	1.8
集客力の低下	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	2	1.5	0.7
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	0.4	0.7
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	3	4	1.1	1.5
販売納入先からの値下げ要請	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	3	0.4	1.1
人手不足	2	2	12	15	4	4	4	4	10	8	2	2	34	35	12.5	12.7
商圏人口の減少	0	0	0	0	10	9	1	0	0	0	0	0	11	9	4.0	3.3
取引先の減少	1	1	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	3	6	1.1	2.2
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2	0	0	3	4	1.1	1.5
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
問題なし	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	2	3	4	1.1	1.5
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	3	3	1.1	1.1
流通経路競争の激化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0	0.7
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	0.4	1.1
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
仕入先からの値上要請	1	2	0	0	5	6	0	0	3	5	0	0	9	13	3.3	4.7
下請けの確保難	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	1.5	1.8
合計	18	20	56	56	64	64	28	30	83	80	23	25	272	275	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 44 件
 第2位～ 「売上の停滞・減少」 38 件
 第3位～ 「人手不足」 35 件

前期	
第1位～ 「売上の停滞・減少」	45 件
第2位～ 「原材料高・材料価格の上昇」	38 件
第3位～ 「人手不足」	34 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
卸売業	売上の停滞・減少 4	利幅の縮小、大手企業（大型店）との競争激化、 3	人件費の増加、人手不足、仕入先からの値上要請 2
建設業	原材料高・材料価格の上昇 18	人手不足 15	売上の停滞・減少 6
小売業	売上の停滞・減少 11	商圏人口の減少 9	仕入先からの値上要請 6
サービス業	利幅の縮小 5	人件費の増加、人手不足 4	売上の停滞・減少、原材料高・材料価格の上昇 3
製造業	原材料高・材料価格の上昇 23	利幅の縮小 11	売上の停滞・減少 9
不動産業	売上の停滞・減少、同業者間の競争激化 5	販売商品の不足・商品物件の不足、商品物件の高騰 3	利幅の縮小、人手不足、問題なし 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	5	6	11	11	18	19	3	8	12	15	7	7	56	66	21.5	25.3
販路を広げる	5	5	6	7	0	0	1	2	14	19	1	0	27	33	10.4	12.6
情報力を強化する	3	1	7	5	0	0	0	0	9	3	6	7	25	16	9.6	6.1
人材を確保する	2	1	15	14	5	6	5	2	15	12	1	3	43	38	16.5	14.6
技術力を強化（高める）	0	0	5	10	0	0	3	3	0	0	0	0	8	13	3.1	5.0
流通経路の見直しをする	0	0	1	1	0	0	0	0	9	10	0	0	10	11	3.8	4.2
機械化を推進する	0	1	0	0	2	2	0	0	3	1	0	0	5	4	1.9	1.5
パート化を図る	0	2	2	0	1	0	3	3	2	2	1	1	9	8	3.5	3.1
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	1	0	3	2	0	0	1	0	5	3	0	0	10	5	3.8	1.9
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	1	1	5	5	1.9	1.9
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.4
新しい事業を始める	0	0	0	0	10	7	7	6	0	0	3	5	20	18	7.7	6.9
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.5	1.5
その他	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0.8	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	1.5	0.8
特になし	0	0	1	2	3	2	0	1	2	2	2	1	8	8	3.1	3.1
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	2	4	2	0	0	0	0	4	4	1.5	1.5
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	2	2	4	5	1.5	1.9
輸入品の取扱を増やす	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	1.2	1.1
営業時間を延長する	2	1	0	0	4	7	0	0	0	0	0	0	6	8	2.3	3.1
提携先を見つける	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	2	1	5	5	1.9	1.9
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
合計	20	20	54	54	56	59	29	28	75	72	26	28	260	261	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 66件
第2位～ 「人材を確保する」 38件
第3位～ 「販路を広げる」 33件

前期	
第1位～ 「経費を節減する」	56件
第2位～ 「人材を確保する」	43件
第3位～ 「販路を広げる」	27件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位		第2位		第3位	
卸売業	経費を節減する	6	販路を広げる	5	パート化を図る、提携先を見つける	2
建設業	人材を確保する	14	経費を節減する	11	技術力を強化（高める）	10
小売業	経費を節減する	19	新しい事業を始める、営業時間を延長する	7	人材を確保する	6
サービス業	経費を節減する	8	新しい事業を始める	6	技術力を強化（高める）、パート化を図る	3
製造業	販路を広げる	19	経費を節減する	15	人材を確保する	12
不動産業	経費を節減する、情報力を強化する	7	新しい事業を始める	5	人材を確保する	3

特別調査

「中小企業における災害等への対応について」

問 1 貴社では、普段どのような災害を意識していますか。1～0の中から、3つまで選んでお答えください。

	1. 地震	2. 火災	3. 風・水害 (台風・ゲリラ豪雨など)	4. 雪害	5. 上記以外の 自然災害	6. コロナなどの 感染症	7. 犯罪行為 (大規模テロなど)	8. 国際紛争	9. その他	0. あまり意識 していない
合計 (構成比)	26.3%	19.1%	17.9%	10.0%	2.0%	16.7%	0.8%	3.2%	0.8%	3.2%
総合	66	48	45	25	5	42	2	8	2	8
卸売	6	4	3	0	0	5	1	0	0	0
建設	12	6	12	7	2	6	0	0	1	2
小売	15	14	11	5	1	10	0	5	0	1
サービス	7	6	3	3	1	7	0	1	0	0
製造	16	14	12	6	1	8	1	1	0	4
不動産	10	4	4	4	0	6	0	1	1	1

上記質問において、1.「地震」が66先の回答となり、次いで2.「火災」が48先、3.「風・水害」の45先等となりました。

問 2 貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。1～4の中から選んでください。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。5～9の中から選んでお答えください。

	(a) 現在の災害への備えの自己評価				(b) 実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたか				
	1. できている	2. どちらかという とできている	3. どちらかという とできていない	4. できていない	5. できていた	6. どちらかという とできていた	7. どちらかという とできていなかった	8. できていなかった	9. 災害にあっ たことがない
合計 (構成比)	7.6%	44.8%	38.1%	9.5%	3.8%	34.3%	26.7%	6.7%	28.6%
総合	8	47	40	10	4	36	28	7	30
卸売	2	4	2	0	2	3	1	0	2
建設	2	8	9	2	0	9	7	0	5
小売	2	10	11	2	1	9	5	4	6
サービス	2	5	4	0	1	4	6	0	0
製造	0	11	12	5	0	5	7	3	13
不動産	0	9	2	1	0	6	2	0	4

上記質問 (全2問) において、(a)では2.「どちらかというとできている」が47先の回答となり、次いで3.「どちらかというとできていない」が40先、(b)では6.「どちらかというとできていた」が36先の回答となり、次いで9.「災害にあったことがない」が30先となりました。

問 3 貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償 (設備や店舗が損壊した時の補償) や休業補償 (休業を余儀なくされた時の損害の補償) に加入されていますか。加入している方はその内容について1～3の中から、加入していない方はその理由について最も当てはまるものを4～8の中から選んでください。わからない方は9を選んでください。

	(a) 加入している(その内容)			(b) 加入していない(その理由)					
	1. 財産補償、 休業補償の 両方に加入	2. 財産補償の み加入	3. 休業補償の み加入	4. 保険料が高 い	5. 補償内容が 狭い	6. 災害保険に ついてよく わからない	7. 保険金額が 低い	8. 自社には必 要ない(災 害時の損失 額が低いな ど)	9. 災害保険に 加入してい るかどうかわ からない
合計 (構成比)	36.2%	41.0%	7.6%	4.8%	0.0%	3.8%	1.9%	1.9%	2.9%
総合	38	43	8	5	0	4	2	2	3
卸売	5	2	0	0	0	0	0	1	0
建設	8	5	2	3	0	2	0	1	0
小売	8	15	0	1	0	1	0	0	0
サービス	4	4	1	0	0	0	2	0	0
製造	9	13	2	0	0	1	0	0	3
不動産	4	4	3	1	0	0	0	0	0

上記質問 (全2問) において、(a)では2.「財産補償のみ加入」が43先の回答となり、次いで1.「財産補償、休業補償の両方に加入」が38先、(b)では4.「保険料が高い」5先、6.「災害保険についてよくわからない」が4先等となりました。

問 4 貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。1～5の中から選んでお答えください。また、自社所在地周辺のハザードマップ（洪水や土砂災害、地震・津波など）を確認していますか。状況について最も当てはまるものを6～9の中から選んでお答えください。

	(a) 建物の耐震について					(b) ハザードマップの確認について				
	1. できている	2. どちらかというのでできている	3. どちらかというのでできていない	4. できていない	5. わからない	6. 確認して、大きな問題はなかった	7. 確認して問題があり、対策を取った	8. 確認して問題があったが、対策は取っていない	9. 確認していない	
合計（構成比）	18.1%	34.3%	22.9%	11.4%	13.3%	41.9%	14.3%	18.1%	25.7%	
総合	19	36	24	12	14	44	15	19	27	
卸売	2	3	0	1	2	6	1	1	0	
建設	5	8	5	2	1	7	2	6	6	
小売	3	10	7	1	4	8	7	6	4	
サービス	4	3	1	1	2	5	1	1	4	
製造	3	7	7	6	5	12	0	4	12	
不動産	2	5	4	1	0	6	4	1	1	

上記質問（全2問）について、(a)では、2.「どちらかというのでできている」が36先と1番多く、次いで3.「どちらかというのでできていない」が24先となりました。

(b)では、6.「確認して、大きな問題はなかった」が44先と1番多く、次いで、9.「確認していない」が27先等となりました。

問 5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政策系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援（災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など）を受けたことがありますか。7～0の中からお答えください。

	(a) 現預金の保有状況						(b) 災害対策金融支援			
	1. 売上の3か月以上	2. 売上の1～3か月分	3. 売上の2週間分～1か月分	4. 売上の2週間未満	5. ほとんど保有していない	6. 把握していない	7. コロナ禍の時に受けたことがある	8. 自然災害の時に受けたことがある	9. コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある	0. 受けたことがない
合計（構成比）	30.5%	32.4%	16.2%	7.6%	7.6%	5.7%	61.0%	2.9%	3.8%	32.4%
総合	32	34	17	8	8	6	64	3	4	34
卸売	4	2	2	0	0	0	8	0	0	0
建設	6	10	1	1	2	1	9	1	1	10
小売	7	7	5	2	2	2	15	0	2	8
サービス	1	5	3	1	0	1	8	0	1	2
製造	7	9	3	3	4	2	16	2	0	10
不動産	7	1	3	1	0	0	8	0	0	4

上記質問（全2問）について、(a)では、2.「売上の1～3か月分」が34先と一番多く、次いで、1.「売上の3か月以上」が32先等の回答となりました。

(b)では、7.「コロナ禍の時に受けたことがある」が64先と一番多く、次いで、0.「受けたことがない」が34先の回答となりました。